

どりーま通信

第32号 2020年 1月発行

特定非営利活動法人 どりーまサービス
TEL 088-626-3237 FAX 088-611-7035

主な紙面

- 米国福祉研修報告P2
- インフォーマルP3
- 事業所だよりP4~P11
- 秋まつりP12
- 体操教室P13

「令和」の地域福祉を生きる

理事長 山口 浩志

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

令和初のお正月です。2020年は「かのえね」の年です。この年は、これまでに繁栄と分散を繰り返したことを、ある時期から再形成する動きがあり、何か新しいものをつくり出そうとするような意味の年だそうです。いわゆる人類や草木の生命を始めとした、命が進化するような年といわれています。

今年は何といっても東京オリンピックが56年ぶりに開催されることで、これを機に今後の発展に期待がかかります。

そして、大河ドラマは、智将明智光秀を描いた「麒麟（きりん）がくる」です。光秀は戦国初期の群雄割拠の動乱の中、天下を狙って命をかけた愛にかけ戦う時代に、勇猛果敢な性格と類まれな知力を、美濃を牛耳る斎藤道三に見込まれ、後に織田信長に仕えた武将でした。

歴史的には謀反を企てた武将という印象が強いですが、実際は権力より義を重んじた上で本能寺の変に臨んだと伝えられています。



日本介護支援専門員協会全国大会
in 四国 開催県大会長挨拶

令和からの新たな未来にあたり、時代に即した地域福祉活動のあり方を模索しながら、地域愛を重んじ、周囲からも心を奮い立たせられるようなNPO活動の実践を続けたいと思います。



人々の健康、いのち、そして幸せを支える ～栄養・食事管理を目指して～

公益社団法人 徳島県栄養士会 会長 高橋 保子



公益社団法人徳島県栄養士会は、すべての人びとの「健やかによりよく生きる」という願いに応えるため、保健、医療、福祉及び教育等の分野において、食と栄養の指導を基に、県民の命をまもり健康を育む質の高い食生活の形成と、県民の公衆衛生の向上に寄与することを目的に活動しています。会員は、管理栄養士、栄養士、医療、学校健康教育、勤労者支援、研究、教育、公衆衛生、地域活動、福祉と7協議会に分かれて活動しています。

急速に進む少子・超高齢・人口減の社会変化にあつて、食育の普及・啓発、生活習慣病発症予防・重症化予防、フレイル・サルコペニア、認知症予防などの取り組みは、現在抱える過剰栄養・肥満と低栄養、やせの栄養障害の二重負荷として新たな栄養の二極化の課題として、平均寿命・健康寿命の延伸に向けた取り組みの重要なテーマとなっています。

在宅での食支援も大きな課題です。生活習慣病、糖尿病、腎臓病などの疾患に加え、摂取量が増えない、術後（退院後）の食事が上手くいかない、摂食嚥下困難時の対応食、メニューや調理法の工夫、宅配食・惣菜・弁当などの活用、買い物工夫など、医療保険・介護保険に照らし、個人の条件に合った食事の支援に取り組んでいます。実際には、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう、日常の栄養・食事相談等のサポートを通し、共に健康と生活を守っていききたいと願っています。その為には、ケアマネジャーの皆さま方のご理解とご協力・ご支援をいただき、その連携の中で「食の力」が発揮出来るよう、お声をかけてください。

オレゴン州ポートランド市 福祉研修

10/15～10/19の間、海外研修に山口理事長が参加してまいりました。この度は、公益財団法人愛恵福祉支援財団からの助成を受けた参加でした。テーマはアメリカにおける認知症ケア、エンド・オブ・ライフ・ケアなどにおける最新の高齢者ケアを学ぶ研修でした。



オレゴン州

オレゴン州の医療を学ぶ

アメリカの製薬メーカーで勤務した後に病院SWとして勤務し、3年前に大学修士号を取得されています。

アメリカは、学士をもつ看護師(NP)とSW(PA)に対して、一定の権限が与えられる仕組みがあります。中でも、末期がん患者さんや終末期を迎える患者さんに対する、チームオンコロジー(チーム医療)では、NS、薬剤師は、医師に近い役割を担っています。例えば、経験のある臨床看護師や上級看護師(NP)は、診断所見はもとより、処方せんを書くこともあります。また、PAにおいては、治療のための財産処分の手続きや、財産管理手続きを任せられます。医師との連携により多職種が、互いにどう協力しあっているかを15年位かけて作り上げてきた仕組みだそうです。



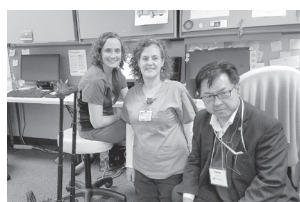
講義:エミリー・ウォルトン(SW)

米国では、カンファレンスには必ず牧師が参加することになっており、時には医師が治療の終了(治療を施しても治らないと判断された場合)の段階で、「牧師による傾聴」の処方せんを書くこともあるそうです。基本的には、「ライフレビュー」を重要視しており、これまでに生きてきた過程で、楽しかったことを話し合ったり、生きてきてよかったと思えるまで時間を費やされるそうです。

自立型ケアから メモリーケアまでの実践を知る

シニア向け住宅で、約20年前に設立されました。

13エーカー(約15,912坪)の広大な敷地に、サポートを必要とした自立型の「Independent living(インディペンデントリビング)」「介護型の「Assisted living(アシストドリビング)」、医療的サービスや認知症ケアを対象とした「Memory care park view(メモリーケアパークビュー)」といった、入居者に合わせた施設があります。



プロヴィデンス・エルダープレイスにて



アドベンチスト・チェリーウッド・リタイアメント・コミュニティ

エンド・オブ・ライフ・ケアの 真髄に共感

ホスピス牧師として15年ほど勤めており、神学修士をもち、連邦政府からの認可を受けて携わっています。これまでに、緩和ケアトレーニングを積んできたそうです。



講義:ワンダボーズ(牧師)

NIKEからの寄贈



スカイブリッジ



オレゴン州の公立大学で、ポートランドに3つの病院を構えると共に、医学教育や歯科教育、看護学教育の集約も目指されているようでした。また、小児病棟は、小児医療や長期慢性期疾患を抱えた子どもの治療を専門とする病院で、靴の「NIKE」の本社が地元にあるだけに、毎年入院される子どもたちへ靴の寄付があるそうです。また、軍人医療センターとOHSUを結ぶ歩道橋は、北アメリカでも最も長いつり橋型の歩行用スカイブリッジで有名だそうです。

キウア目標を重視したミッション

オレゴン健康科学大学(OHSU) 視察

くらしの泉①



緊張されないように笑顔を保ちます

祖母がお世話になっているどりーまあサービスがどんなところかと、ネットで

ボランティア 村永 博則さん

法人設立当初から行っている有償ボランティアの事業は、本人の神髄と言えます。離れて暮らすご家族からは、「このサービスのおかげで今の生活が成り立っています！」「これからは頑張ってください！」との言葉をいただきスタッフの励みになっています。



検索したところ、ボランティアを募集していたのでやってみようと思いました。デイサービスで勤務したことはあったけれど、その人の家に行くのはハードルが高いと感じていました。最初に活動した時は、本当に緊張しましたが、利用者様と話しをしていくうちに打ち解けてきて、次の時に「今日も来てくれてありがとう」と言われ、やってみて本当に良かったと感じました。この活動を通して、病院の送迎・付添、お墓参りの送迎・付添など、日常のことで少し力を貸してほしいと思っている人がいることを知りました。これからも、そのような方々の力に少しでもなりたいと思います。ボランティアに関心がある人は、是非チャレンジしてほしいなと思います。ハードルが高くなって思うかもしれませんが、いけど、自分が出れる範囲で活動ができるので思い切って始めてみてほしいです!!

一緒に活動しましょう! 充実した時間を過ごせますよ!!



安全運転で行ってきます♪

くらしの泉②



ポケットティッシュ作ります♪

令和元年になり、おきのすサロンも開催して11月で6年目となりました。介護予防として、地域の人たちが集う場づくりとして進めています。



「継続は力なり」参加者の方の声掛けで、しばらく参加していなかった方も久しぶりに参加、元気な顔を見せていただきました。季節のイベント作品(春にはこいのぼり作り、夏には七夕飾り、うちわ作り、秋のハロウィンリース作り、冬にはクリスマスツリー作り)「四季を感じられる」と喜ばれ、和気あいあいとした語らいの時間を過ごされています。「今度はこんなことをやろう」とみなさんが率先して進めくれるのもおきのすサロンの流。これからも、ここにくると元気になれると言ってもらえる場所となるように頑張っていきます。沖洲近隣の方、一度足を運んでみませんか? おきのすサロンへお気軽にお越しください。参加をお待ちしております。



ハロウィンリース作りました!!

ヘルパーステーションたすけあい



話をお聞きすることが好きです

話をお聞きすることが好きです。その方の経験や今まで生活をされていく中でやり方やルールがあつて、その中でこのようにされている。ということにある時気づきました。今は、

利用者様に自分の価値観を押し付けてしまわないように気を付けています。仕事を始めたばかりの時は、「それはこの方がいいんじゃないですか？」と自分のやり方が正しいと信じ、無理に押しつけてしまうことがありました。けれど、

介護福祉士 正地 輝美

ご利用者様の尊厳を守るケアを目指す

Care worker



どリーまあサービスを支える大きな柱の一つヘルパーステーションです。

また利用者様に一番近い存在です。スタッフの年齢も経験も様々ですが、相乗作用で大きな力を発揮してくれる頼もしいチームです。



ヘルパーステーションたすけあい 沖洲

笑顔忘れず日々奮闘

介護福祉士 向井 純子



安心してもらえるケアを心がけています

「少しでも元気になるケアを笑顔にしよう、えたらな」と考えています。しかし、私一人では入居者様全員を笑顔にし元気づけることは難しいでしょう、そのためにチームが連携を図り、チーム全体が笑顔で適切なケアや対応を行うことで、入居者様に家族のように安心して頂けると思っています。少しでもその不

入居されている方は、誰しも自宅に帰りたいという想いを持たれています。施設に慣れて頂くためにも、私はコミュニケーションを大切に、笑顔になって頂くことを心がけています。

利用者様の価値観や経験を尊重しています。また、利用者様がやつてこられた仕事や今までの人生経験のお話をお伺いすることが好きです。色々な方から自分では経験したことがない、知らない世界のことを知ることが出来ます。これからの、利用者様に寄り添いながら、生活のお手伝いをさせていただきたいと思っています。

学ぶことが出来るのは現場においてのみです。

～フローレンス・ナイチンゲール～

ヘルパーステーションたすけあい 川内



食事を楽しんでもらいたいです！

愛は身近な人に気遣うところから始まります。

～マザー・テレサ～

おひとりおひとりの生活に安心を提供

介護福祉士 北村 智子

29名の入居者様の中には、昼間はデイサービスをご利用される方や、病院へ診察やリハビリに通われる方等、様々ですが、中にはお身体の状態によっては居室で静養される方もおられます。

そのような方に対しては、ご自宅を訪問するつもりで、居室におうかがいして、お話し相手やお身体のお世話をさせていただいています。お話をさせていただくと安心される方が多いです。

また、利用者様との会話はできなくても、居室でヘルパーや看護師から相談にのらせていただくことは安心感があるようです。これからの、安心して過ごしていただけるように努力していきます。

安を安心に変えられるよう、入居者様の気持ちに寄り添えるような介護を目指し、自己研鑽を重ねていこうと思います。

医療との架け橋となる重要な部署です。0歳児から高齢の方の命と向き合っていますが、常に笑顔を忘れない明るいチームです。



どリーまあ
訪問看護ステーション

在宅

看護師 平山 章美



看護力を在宅で活かす

訪問看護は、あらゆる年齢の方を対象に、自宅にお伺いしケアをさせて頂きます。状態観察・服薬管理からターミナルケア・人工呼吸器管理等、幅広い医療行為を行っています。自宅での療養を選ばれた方やご家族様が、病気と共生しながら豊かな時間を過ごすことが出来るように、サポートさせて頂きます。



児童デイ

看護師 高橋 憲恵



子どもたちの尊い命とともに成長させて頂く

早いもので児童発達支援事業所・放課後等デイサービスどリーまあキッズは、開所7年目を迎えています。保護者のレスパイトを目的に開設され、家庭的な雰囲気の中で、9時～17時の間、子どもたちをお預かりしています。たん吸引や胃ろうからの栄養剤の注入、食事介助など看護師として行うことは多いのですが、保育士のアドバースのもと制作や音楽遊びにも取り組んでいます。

リハビリ

理学療法士 新居有美子

日常生活動作の改善はQOL向上の大切な要素になります。理学療法では、病気、障がいがあっても住み慣れた街で、自分らしく暮らしたいというひとり一人の思いを大切にしています。私もこのことを胸に、利用者様の心に寄り添い、少しでも役に立てばという想いで働かせて頂いております。

通所介護

看護師 小笠 明美

デイサービスでの主な仕事は、バイタルチェック・服薬管理・急変時の対応などです。

介護職員による食事や排泄、入浴などの援助の中で、必要な処置を行ったり助言したりしています。利用者様には基礎疾患があります。病気の症状がはつきりと現れなかったり、痛みや不調を訴えられないこともあり、いつもと違うちよつとした変化を見逃さないよう、情報を共有し協力しあつて、安心して過ご



「また来るね。」の言葉を励みに



自立支援は心と身体から

していただけるよう取り組んでいます。

通所介護では、それぞれの特徴を生かし、利用者様一人ひとりのニーズに合わせたサービスを、スタッフが相談をしながら提供しています。また、知力・体力の維持向上も目標にあげ取り組んでいます！

Community

デイサービスセンター 夢ハウス



おやつレクの様子

おひとりおひとりの「声」を大切に

管理者 井川 弘子

夢ハウスの日課の一つに健康体操と「レクリエーション」があります。毎日、スタッフが交代で利用者様と一緒に体操や脳トレ、おやつレクなどを行っています。利用者様と一緒にいろんな話をしながら行い、笑いや活気に満ち溢れています。その中でも、おやつレクは、どの利用者様からも好評を頂いております。利用者様からかけて頂く「美味しかった」「また作ってよ」の褒めの言葉と笑顔に支えられています。これからも、利用者様の声を大切に少しでも喜んでいただけるよう努力していきたいと思っています。



職員との対話の日

楽しみを工夫する



みなさんとすごろくタイム



利用者様のご意見を伺うおはなしの会

敬老やクリスマス、正月等の行事ではなく、毎日のレクリエーションの質を上げるように取り組んでおります。月1回のおやつレク開催、利用者さんからご意見を聞くお話の会、お話の会で頂いたご意見を実現させること等の取り組みをチームで検討して実施しています。その他、マンネリ化していたレクリエーションを刷新すること、新鮮な毎日を利用者さんが過ごせる環境づくりに取り組んでおります。



体操児島先生による紙芝居

デイサービスセンター 夢ガーデン

管理者 山口 拓也

「夢ガーデンでは今年度のサービス目標を「利用者様が今日も一日楽しかったと笑顔でいられる毎日」を過ごして頂けるように尽くす」ことになりました。「今日一日楽しかった」と思っ

て頂けるようにする為には、今までとは違う新しいことを始めないとい

デイサービスセンター 夢ファミリー

コミュニティを 大切に

管理者 福本 誠司

朝の朝礼は、施設長又は職員からのあいさつに始まり、本日の予定をお伝えしております。

そして、皆さんと元気に体操で体を動かすことから夢ファミリーでの1日が始まります。体を動かす事、笑う事、声を出す事を朝の時間に皆さんと一緒にしています。

その後は、脳トレで計算ドリルをする方や、色鉛筆を使った塗り絵で作品制作にあたる方、個別にリハビリを受ける方等々に分かれます。

お食事なども、お隣の方とご評価しながら食べるのも楽しみのようです。これからも、利用者様の体調の維持、向上のお手伝いをしていきます。



お花見です 満開の桜 敬老のついで 津軽三味線でお祝い



神輿が来てくれました

個のスキル向上とチーム力

ケアマネジャーとして19年目にさしかかりますが、経験を積み毎に「基本の忠実なケアマネジメント」の大切さを強く感じています。

「個人の尊厳」が守られたケアマネジメントができていくのか、「自立支援」が実現できているかどうか等、自問自答の毎日です。

これからの初心を忘れず、前身あるのみです。



管理者 山口浩志

基本形を見失わない

頼られる存在を目指して！



Care Manager



介護支援専門員

どリーまあ徳島



西岡奈津代

ケアマネジャーになり2年目です。経験、知識共に乏しく力不足を感じますが、やりがいがある仕事だと思います。利用者やその

ご利用者の生き方を学ぶ

家族の方の生き方や価値観に触れるたび多くのことを学ばせていただいています。一つ二つがオリジナルであり支援の仕方は一つではありません。誠実に向き合っていきたいと思っています。



遠藤紀子

施設の相談員経験が長く、施設での支援のあり方に限界を感じていたこともあり、在宅の仕事希望してケアマネの仕事につきました。

日々新たな学びに感謝

人のお家に入れていただくという事は、相手の方が何を大切にしているかを知ることから始まります。その方が大切にしているものを大切に、その方の生き方から教えていただきながら、訪問させていただいています。

居宅事業所チームは、スタッフたちのバックライセンスはほとんどが福祉系であります。

ケアマネジャーは職種から、サービス調整やアドボカシー(代弁)の役割が求められていて、橋渡し役を果たすためにも、全ての部署とのつながりが大切です。

同じ立場の者同士で支え合っていくためにも、チームワークが欠かせません。



河野一彰

今年の1月よりケアマネジャーとして入職したばかりです。それまでは訪問介護員や介護タクシーの運転手をしていました。

日々の経験を大切にしています

戸惑う事も多いですが利用者様や家族さん、周りの方に支えられ成長させて頂いていると感じています。

支えてもらうだけでなく支え寄り添う事の出来るケアマネジャーになる事を目指し日々を過ごしています。



岸野歩美

ケアマネジャーとして5年目。最近、在宅での看取りをいくつか経験させて頂きました。その方の最期をコーディネートする重要な役割

常に個人の尊厳がベース

だと思ってしまう。これらはもともと多様なサービスで尊厳を大切にしている人らしい生活を支えられたと思います。利用者様だけでなくご家族にも安心して相談して頂ける存在になれる様、日々努力しています。



影浦ゆかり

利用者の話を十分に聞く傾聴と、感情を受け止め理解し受容や共感を持つようにしています。そのためには、自分自身が常に気持ちに

「声」をかたみにしたい

余裕を持ち、利用者の自己決定を尊重する不安や緊張、混乱、また認知症のため自分自身の状況について言語化できない場合は、身振りや表情、視線などにも注意を払い感情を推し量る努力をしています。したいと思います。



サービス付き 高齢者向け住宅 「レスポワールⅡ」

ますます活気づいている川内事業所です。今年度も医療福祉系の学生実習生さんや三味線や踊りといった文化芸能のご披露等、様々な分野の方にご訪問いただきましたので、ご紹介させていただきます。



津軽三味線と子ども阿波おどり

ヤットサー
ヤットサー

また、感動したり、新しい事に触れる瞬間なのかもしれません。
そして、訪問されるグループの方々からも、「元気にしよったで！」などのお言葉もいただきたりで、利用者様だけでなく、職員にとっても勇気づけられる「出会い」の場にもなっています。

高齢者住宅ケアを創る

入居者様にとってみれば、日常生活では触れられない「音」や「人」との交流は、生活のエネルギー源でもあります。

また、感動したり、新しい事に触れる時間は、生きる喜びを感じて頂ける瞬間なのかもしれません。



尺八演奏会

交流イベント

運営懇談会

地域での民生児童委員や町内会長、学識経験者、利用者ご家族、地域包括支援センター地区担当者等に出席いただき、半期毎の運営実績や、取り組み内容のご報告と意見交換会を行っています。



貴重なご意見ありがとうございます！

運営支援

住宅運営をしていくにあたり、地域の中における「福祉拠点」としての役割が求められており、年1回の運営懇談会をすることが義務づけられています。様々な分野の方々からの意見を拝聴し、運営に役立てるために、どりーまあでは、年2回開催しています。

育成

四国大学看護学部
フィールドワーク実習

今年で5年目に入る「フィールドワーク実習」です。看護学部の1年生の実習で、看護に入る前に、「人」を学ぶための「全人格的教育」を目的とした実習として受け入れています。

認知症の方や寝たきりの方と会話をしたり、同じ時間を共有することで、看護師である前に「人」として接する事を学んでもらっています。



看護の未来を託します

職員紹介



今年の8月から川内事業所でお世話になっていきます。以前は老健で勤めていました。訪問看護の施設は初めての経験ですが、老健での経験、学んだこと、知恵を活かし、利用者様に喜んで頂けるよう努めたいと思います。

磯部 浩子

委託業社 エイブルフーズ



井元代表取締役

心を込めて
作らせて
頂きます！



調理師 近藤さん 栄養士 西田さん

食を支える

厨房は食の心臓部

どりーまあ給食部

昨年より、厨房を完全委託式から、ケイタリング式に切り替えたことにより、法人内で給食部を設けました。

最初は慣れない職場で苦労もあったと思いますが、時には、調理に対する意見でぶつかりあったりしたこともありました。根本的には利用者様に対して「美味しさ」をご提供するため、活気ある新給食チームとして頑張っています。

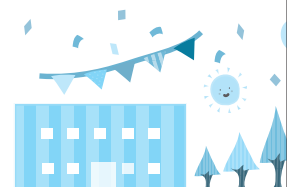


毎月1回行っている給食会議

開設をして早や8年目に入りました。ひとえに利用者様やご家族、また地域の皆さまから支えていただいた賜物です。これからも常に学ぶ姿勢を忘れずに、前進してまいります。それでは、沖洲事業所の取組をご紹介しますいただきます。

共に
生きる

サービス付き
高齢者向け住宅
『レスポワール』



健幸イベント

おやつづくり

夢ガーデンでは毎月一回おやつレクを行っております。季節感を味わえる水羊羹、どら焼き、かき氷、パフェ、ふかし芋等のおやつを作っています。自分で作った達成感やオリジナルの特別感を感じられるおやつレクは毎回好評です。



かき氷づくりを楽しむ



春のひつひつコンサート

4月26日に、春のひとときコンサートを開催いたしました。春のイベントとして毎年開催しており、利用者様が自分の好きな曲をそれぞれ3か月前から練習し、他の利用者様に披露するイベントです。ご主人との思い出の曲や昔流行った曲、昔好きだった人に教えてもらった曲等選んだ曲には利用者様の思い出が詰まっているので、歌っている表情も素敵でした。



なつかしのメロディに感激

運営懇談会

地域からの声を羅針盤に

運営懇談会はご家族、地域、行政、識者など様々な方が参加くださり、事業所運営の状況報告、利用者様の日常の様子や表情などを報告し、日頃の様子やイベント等のご紹介。そして参加者の皆様と職員がテーブルを囲む懇談会を行っています。皆さまからいただいたご要望、お気持ちをしっかりと受け止め、事業所運営を改善と安定した経営を継続できるように努めてまいります。



たくさんの意見を頂いています

外出支援

初詣



今年も一年健康でありますように

毎年、お正月に近所の神社へ初詣に出かけます。神社までは歩いて5分で到着しますが、利用者様にとってはとても遠い道のりです。今年の初詣は、天候にも恵まれて、また神社へ行く道中に咲いている冬の花を見ながら歩く姿がとても楽しそうでした。皆様と笑顔で新年を迎えることができました。



交流イベント

幼保交流

健幸活動

クリスマスは近所にある学童保育の子どもたちと一緒に過ごしました。サンタの帽子をかぶった可愛い子どもたちが利用者様の前でクリスマスの歌を歌ってくれたり、また利用者様と一緒にゲームをして楽しみました。最後はサンタクロースが登場しました！



子どもたちの元気はビタミン剤です



児童デイサービス



シャボン玉



シャボン玉大好き♪



キラキラ光るシャボン玉キレイ★

に子ども
たちも興
味津々。
シャボン玉
を目で追っ
てくれてい
ます。

きぼう

晴れて気持ちの良い日には、屋外広場でシャボン玉をします！
「シャボン玉飛んだ〜♪」歌を歌って大きなシャボン玉や長いシャボン玉、いろいろなカタチ、そしてキラキラ光るシャボン玉

あそぶ



ペットボトルのジョーロ♪

り、スタッフが作った赤、青、黄、白、色とりどりのスライムをプールの中に入れて、スライムの上に座ったりして、むにゅむにゅ、もにゅもにゅスライム独特の感触も楽しめました♪
五感をフルに使って、今年の夏を楽しみました♪

プールで ご機嫌

ぴちやぴちや♪ ちゃぷちゃぷ♪
どリーむキッズ玄関のウッドデッキにプールを出して、子どもたちと冷たくて気持ちのいい水の感触を楽しみました★
ペットボトルで作ったジョーロに水を入れて、手や足にかけた

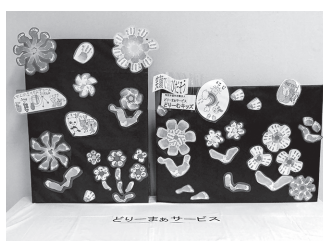
子どもたちと四季を感じられるシーンやイベントを大切に過ごしています。
また、子どもたちが音や手足の感覚といった五感をフルに使えるようにと、スタッフが工夫しながら取り組んでいます。



水遊びを楽しむ

社会 参加

作品展



展示された作品

や足形を合わせてお花を作りました。子どもたちの可愛い手・足形が組み合わさり、エネルギーが溢れる作品となりました。

9月20日〜22日に文化の森にて行われた、作業療法作品展にキッズの子供たちが夏休みに作った作品などを出展させていただきました。
作品の一つを紹介させていただくと、子どもたちの手形

癒やし



家 族 会

その後に行った懇談会では、ご家族からキッズや学校の事についての不安や疑問に思っている事を情報交換が行われ、お話は予定時間をオーバーするほど盛り上がり、貴重な時間となりました。



わたしも楽器演奏がんばってるよ♡



フルートの音色に癒やされる

年に3〜4回、家族会を開催しています。今回は、6月22日(土)に開催した家族会をご紹介します！
今回の家族会は、フルート奏者の香川雅代さんにお越しいただき、となりのトトロやレイトイットゴーなどを演奏いただき、フルートの透き通った音色に癒やされました。また、名探偵コナンの曲では、紐に鈴

児童デイサービス



前進

新スタッフと法人相談役でもある顧問弁護士松原健士郎先生、また前事業所「ゆずっこ」職員さんにも出席していただき、開所式典を開催いたしました。



「ゆずっこ」が大事にしてきた児童福祉への思いを受け継ぎながら未来への挑戦をします。この想いを大切にしながら、地域から信頼される事業所運営を目指していきたいと、スタッフ全員で決意をいたしております。

笑顔で生きていける子どもたちを支えていくことを目標としていきます。

開所式

令和元年6月27日



関係者の方々にお越しいただきました

令和元年7月から開始した児童デイサービスです。これまで徳島市内での事業運営でしたが、初めて吉野川市への事業展開でもあり、今後の事業所の成長に期待がもたれます。

校外学習



社会勉強も楽しいな♥

お出かけ



理事長あいさつ



松原先生あいさつ



お天気の良い日には、近くの公園などにお出かけをしています。自然の空気に触れて、お友達とのびのびはしゃいだりすることは、子どもたちにとっても生きていることを実感できる時間です。「さあ、今日はどこに行こうかな」等と職員から心をくすぐられたりすると、とても素敵な表情をみせてくれます。

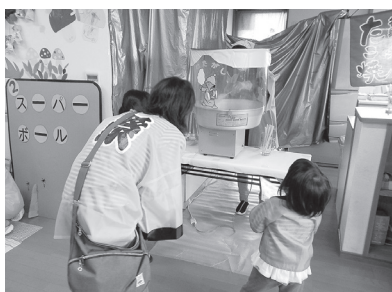
秋まつり

家族交流

ことができ、関りを深めることができました。各催しでは恥ずかしそうにする子どもたち、



さかなつりコーナー♪



みんな大好き わたがしコーナー♪

欲しいものに向かっていく子どもたちと普段の利用時とは違った表情を見ることができました。「これ見て、ようけとったよ」「たこ焼き美味しい」などの声が聞こえ、短い時間ではありましたが、ご好評をいただきことができました。今後、さらに良い行事を開催できよう頑張りたいと思います。

11月4日、第1回どリーむキッズよしの川秋祭りを行いました。家族会に続き、2回目のイベントとなりました。今回は祝日ということもありたくさんのご家族の方に参加していただくことができました。普段お会いすることが出来ないご家族の方ともゆつくりと話すことができて嬉しかったです。

スローガン ～地域と結ぶ～

ステージ

第7回 どりーまあ 秋まつり

今年で第7回目になり、令和元年初めの秋祭りです。今年のスローガンは「地域と結ぶ」といたしました。
秋晴れに恵まれ、利用者様始め、家族様、地域からの参加者の方々と、一体となり、まさに「どりーまあONE TEAM」で楽しい時間を過ごしました。

2019年11月9日(土)



関連企業様からの協賛金を頂き運営資金に役立てていただき、また取引金融機関様からの協賛のお品を抽選会景品に使わせていただいています。



元気体操で体スッキリ!



たくさんの方にご来場いただきました

この秋祭りは、多くの支えがあつてこそ成り立っています。連携させていただいている医療機関様や

は、多くの支えがあつてこそ成り立っています。連携させていただいている医療機関様や

遊び コーナー

喜色満面



うまくすくえるかな?

風船ヨーヨー釣りや、スーパーボールすくい、子どもから大人まで盛り上がりました。また、ダーツハンダーチェリーのよいな懐かしい遊びも、毎年子どもたちから大人気です。

当スタッフの方たちに協力して頂き、大きな力となっております。何よりも、参加をいただくためのPRは、町内会のご協力と近隣の保育園や幼稚園、小中高各学校などにもチラシを置かせていただき、毎年多くの参加をいただいている次第です。
まさしく、沖洲全員参加型運営を秋祭りを通して実践でき、地域密着型イベントとして育てていただいております、感謝の三言に尽きます。

大きなシャボン玉に歓声



大抽選会★

販売 コーナー



今年も完売でした!

販売コーナーでは、NPO法人きこのハウスと、NPO法人すみれ会の皆様、パンや野菜などの販売をして頂きました。美味しい!と今年も大人気で完売となりました。また、県肢体不自由児者父母の会様からは防災食の展示販売、NPO法人補助犬とくしまからは補助犬グッズの販売があり、大盛況でした。

美味しいモノは皆さんを笑顔にしてくれます!

×× 百花繚乱 ××



“きらびやか”なダンス



皆谷尚美さんのやさしい歌声

そして、昨年に引き続き、ビッグシャボン玉では、子どもから大人までが童心にまどおり、楽しいひと時となりました。

ミニライブ

ステージ

ジャズダンス

オープニングは、「ダンススタジオひまわり」の皆様による華やかなステージで、二気にテンションがあがりました。地元シンガーソングライターの皆谷尚美さんによる、「ミニライブ」では、やさしい歌声に包み込まれました。また、徳島県スポーツ振興財団の運動指導士による元気体操では体も心も軽くなりました!

ビッグシャボン玉大会



大きなシャボン玉に歓声

体操教室

徳島市元気高齢者づくり事業



これからも体操頑張ります！

これから体操頑張ります！
1年に1回ある体力測定の結果が去年より上がっていたら、「ヨシッ！」ってなりま
すね。利用者の皆さんと一緒に体操するこ
とで、私も元気を保っています！



手をあげて体を伸ばしましょう

体操中に怪我のないように、それを一番に心
掛けています。
看護師さんと、体操の前に血圧を測って、話し
をして、その人の体調を把握することを大切に
しています。

指導員児島共子さんにお話しを伺いました！

沖洲体操教室

参加者の皆さんからも、体操教室に
通うようになって、友だちが増えまし
た。ここに来たらみんなに会えて話がで
きるから楽しい。それに、体操始めて体
の調子はいいし、体操の後のご飯が美味
しいし、体重は維持できてるし。この
良いトコロは挙げだしたらキリがない。
いいことばかり！と笑顔笑顔。こちら
も自然と笑顔になります♪



私たち指導員、看護師がお待ちしています！

徳島市の委託を受け、65歳以上の方
を対象に市内6カ所で、体操教室を
行っています。
ストレッチから始まり、音楽に合わ
せてステップを踏んだり、筋力トレ
ーニングをしたり。
1人では続かないことも、仲間がい
たら楽しく続けられますよ♪

教室に入ると笑顔が溢れ
ています♪皆さんも一緒に
体操して、心も身体も元気
ハツラツになりましょ～♪

皆さんが主役です！



笑顔のキャッチボール

また、鎌田梶子さん(93歳)は、体操教
室開始以来通い続けています。裁縫や料
理など何でも自分でこなし、元気に過ご
している鎌田さんは皆さんの憧れの存在
です！
体操教室が、元気パワーをあげたり、
もったりする場所になっています。



今日も張りきっていきましょー！



皆様、仲良しです！

南井上体操教室



元気パワー上昇中！

南井上の体操教室では、
「家からできること！」「転ばな
い体づくり！」「寝たきりに
ならない体づくり！」の3つを
ポイントにかかげて、週2回
(火曜、金曜)体操をやってい
ます。と話をしてくれたの
は、指導員の吉永さん。3カ
月間を1つのクールとしてい
て、その間休まずに出席をし
たら皆勤賞もあるそうで
す。これも皆さんの励みに
なっているそうです！

◆委員会活動◆



委員長・麻野美保子

人材育成プロジェクト

本年度の試みとしてゼネラル研修では、他企業との合同での学ぶ機会をもつことができました。多様性が求められる今、色々な出会いを通じて、ネットワークを構築させ業務での展開につなげていくことが必要となります。

事業所内研修では外部研修を含め、いろいろな議題に対し、日頃触れ合うことの少ない職員同士も 集まり、刺激を与え合い、学びに対してのモチベーションをあげることができ、実際の現場で活かしています。



認知症ケアについて
津田祐子先生にご指導いただきました

虐待防止委員会



委員長・遠藤 紀子

年2回義務付けられている身体拘束・虐待防止研修のうち1回を、当委員会主催で行います。昨年、全職員対象にとった「不適切な言動アンケート」でワースト3になった事柄について、ディベートとグループワークを行い、虐待に至るまでの芽が何であるかに気づきを促すための研修を企画しています。



身体拘束・虐待防止研修会

感染症対策委員会



委員長・濱田 礼子

インフルエンザも冬期だけの流行ではない現在、また食中毒もいつ発生、発病するか分からない中、日常的に感染症の流行、発生に留意し、法人内での対応策を周知共有していき、生活の中での手洗いの励行、各消毒、マスクの着用、予防注射、バランスの良い食事、口腔ケアの徹底、発生、発病時には迅速に蔓延、重症化の防止を図り、研修会等で正しい知識を共有し万全を期していきます。

環境整備委員会



委員長・井川 弘子

夏はゴーヤの緑のカーテン、秋のクリン月間、また定期的に地域清掃を行っています。キレイになると気持ちもスキッとします。利用者様が過ごしやすい環境、職員が働きやすい環境を作りたと思っています。日常業務から離れた活動で、楽しみながら環境整備に努めています。



末広事業所の緑のカーテン

防災対策委員会



委員長・杉本 仁史

地震津波などの自然災害から利用者様の命を守るための対策を協議・構築する委員会です。地域の防災対策の情報収集を行い、地域の自主防災組織等の活動を確認し、地域との連携等について協議します。その内容を運営推進会議等で報告し、地域の助けや協力を得られるように働きかけます。

また、災害時の避難訓練計画の作成、災害時の備蓄品や避難確保計画の点検等を行っています。



避難訓練(夢ハウス)



“緊張と希望”をバネに!

本、職業人としての基本等ですが、3年未満の方を対象とした研修ですが、意外とベテランの方が熱心に受けていることがあります。基本を大切にしたい業務がいかに大切かを学んでいます。

未来の千カラ

基礎研修

職員の中には、初めて介護の職に就いた人もいれば、経験を積んだ上で入職された人等、様々です。そこで、「新人研修」としてではなく、「基礎研修」を開催しています。介護技術の基本、接遇の基本、制度の基



介護の第一歩は“信頼”からです※

研修レポート

法人内研修

年間計画に基づき、毎年法人内研修を開催しています。研修の目的はあくまでも利用者満足が得られるサービスの質的向上であり、研修を実践で活かせるかが大切なことを職員間で共有しながら進めています。



頑張る幹部たち

管理者を主に対象とした研修です。毎年ネーミングは違っていますが、今年は研修の名称だけでなく、まず「徳新メディアNIBセミナー」を他社の幹部の方との合同で開催しています。徳島新聞記事を通して読解力や思考力、コミュニケーション力、課題対処力を身につける6回にわたるセミナーです。自社のみならず、他者の幹部の方と合同研修は刺激を受け合っているようです。



ゼネラル研修

全体研修

身体拘束廃止研修

身体拘束をせずに事故を防ぐ方法

あいおいニッセイ同和損害保険会社 松本 智裕様



福居めぐみ

9月19日(木)、今年度第4回目の職員研修会に参加しました。

今回のテーマは、虐待防止・身体拘束について、あいおいニッセイ同和損害保険の松本様にお越しいただき、ご指導をいただきました。

身体拘束防止については法律で決められているが、まだまだ身体拘束をしていたり、グレーゾーン(不適切なケア)が増えているそうです。

身体拘束を廃止するために、どのようなことが身体拘束にあたるのかを職員全員が理解すること、またどのようなケアがグレーゾーンにあたるのかを知り、自分自身はもちろん施設全体がそのような事が行われていないか注意することが大切だと分かりました。ケアについて、ご家族や本人に納得していただけるように、その都度説明をすることの重要性を改めて感じました。また、ご家族への説明を難しく捉えるのではなく、日頃からお話させていただく機会を頻繁に持ち、信頼関係を築いていくことだと感じました。

研修会に参加した職員からは、初心に戻る機会になったと感想がありました。ご指導いただきました松本様、お忙しい中ありがとうございます。



日頃の行動を振り返りました

令和元年度 人材育成プログラム

月	全 体	基 礎 研 修	ゼ ネ ラ ル 研 修
4月	職業倫理とOJT		
5月		制度のしくみと記録について	
6月	虐待防止・身体拘束		記事を通して理解力を鍛える
7月			
8月	認知症ケア ～基礎疾患の理解～		コラムを読んで思考力を磨く
9月		介護技術の基本	
10月			記事を伝えることで コミュニケーション力を養う
11月	感染症対策 ～インフルエンザ・ノロウイルス等～		
12月		症例検討会	新聞全体を通して課題発見力を上げる
1月			
2月	アドバンス・ケア・プランニングの基本と理解		計画立案力を学ぶ
3月	虐待防止・身体拘束身		全体復習

令和元年度 委員会構成

◎委員長 ○副委員長

委員会名	担当者氏名
人財育成プロジェクト	◎麻野 ○平山 ○西岡 ○福居
身体拘束・虐待防止	◎遠藤 ○福本 ○新居
感染症対策	◎濱田 ○高橋 ○佐藤
環境整備	◎井川 ○市原 ○北村